

合否判定の方法及び基準

対象入試制度

令和7年度 経済学部特別推薦 編入学試験

1. 試験内容

「書類審査」「口頭試問（専門科目に関する口頭試問を含む）」

短期大学部及び通信教育部内での書類審査を経て出願された受験生に対し、約15分の口頭試問を実施した。

口頭試問では、最初に志望動機や短期大学在学中に頑張ったことなどを、志望理由書をもとに確認した。続いて、経済学に関する基礎知識の確認をおこなった後、本学部で経済学を学ぶことと、自身の目標との関係性について、自分の言葉で説明してもらった。

2. 合否判定の方法と基準

成績証明書、志望理由書、口頭試問の内容から、総合的に判断した。

本学部のアドミッションポリシーに沿って、次のような人物像に合致しているかどうかという点を中心に評価した。

- ・人間・社会・経済に対する強い関心を持っているか
- ・日本語・外国語部の読解力や論理的思考能力を中心とした基礎学力を有しているか